

## 序章

駒沢女子大学は、平成 5 (1993) 年 4 月 1 日、日本文化学科と国際文化学科との 2 学科を擁する人文学部 1 学部の体制で開学した。以後、学科を増設し平成 14 (2002) 年度からは 5 学科体制、平成 25 (2014) 年度からは 6 学科体制となった。この間、平成 21 (2009) 年度には人間健康学部健康栄養学科が新設された。

大学院は平成 14 (2002) 年 4 月 1 日に人文科学研究科仏教文化専攻修士課程が設置され、翌平成 15 年 4 月 1 日には同研究科に臨床心理学専攻修士課程が開設された。本学に付属する研究所としては、平成 10 (1998) 年度に日本文化研究所が設置されている。

開学以来四半世紀の歩みの中で、近年は人文学部において定員確保が困難な状況が続き、社会のニーズに応じた大学の再生が最大の懸案事項となった。そこで、平成 30 (2018) 年度に人間総合学群（人文学部は募集停止）・看護学部の新設という大きな改革が行われた。こうして平成 30 (2018) 年度現在の本学は、人文学部を発展させた人間総合学群に 4 学類が配置され、人間健康学部と看護学部とあわせて 1 学群 4 学類・2 学部 2 学科、大学院の 1 研究科 2 専攻、1 研究所という体制となった。平成 30 年度時点では、人間総合学群は 1 年次生のみ、人文学部は 2 年次生から 4 年次生が在籍している。

さて、本学は、平成 9 (1997) 年度に自己点検・評価報告書を作成し、大学基準協会の加盟判定審査を受け、平成 10 (1998) 年に大学基準協会の会員校として認められた。その後、学校教育法の改正に伴う認証評価制度が施行されたのを受け、平成 16 (2004) 年度に自己点検・評価報告書を作成し、平成 17 (2005) 年度新たな認証評価制度の施行の下、大学基準協会の評価を受け、続いて平成 23 (2011) 年度に 2 回目の自己点検・評価報告書を作成し、平成 24 (2012) 年度に同じく大学基準協会より大学基準に適合しているとの認定を受けた。

3 回目となる今回の点検評価は、前回の認証評価以降の上述した大学組織の大転換の経緯をあらためて検証するものとなる。前回の認証評価において高い評価を得た本学独自作成の教科書シリーズ、授業録画システム等は継続しつつ、3 つのポリシーなど大学教育の根幹となる指針を再確認し、計画・実行・点検・改善を着実に実行してきた 7 年間であったともいえよう。

今回の点検評価報告書は、複数の学群・学部を擁するとはいえ、本学が比較的小規模な組織であることを活かし、大学全体の点検評価と学部レベルでの点検評価を並行して進め、最終的に大学全体の点検評価に集約するという方法で作成された。その際、人間総合学群と看護学部は創設 1 年目であって点検の対象としにくい部分が多く、一方募集停止となった人文学部の実績には人間総合学群に直結する部分が多いため、これを除外せず適宜検証の対象としつつ進められた。

本学が取り組んできた改善策は今もなお進行中である。各部門における点検評価体制は発展段階にあり、向上・改善を促す取組はこれからも不断に継続していく必要がある。今回の点検評価は、本学における内部質保証システムを活性化させ、あるべき将来の大学像へ向けて再スタートする重要な起点となったものと信じる。

平成 31 年 4 月 19 日  
駒沢女子大学自己点検評価委員会